

児童発達支援または放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果(公表用)

公表日:令和2年3月27日

児童発達支援センター しらゆりフレンドリークラブひがしなだ

		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	定員、利用人数に対しての広さは確保している。	・とても広く、清潔に保たれている。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	利用者の人数に対して職員の配置基準以上の職員を配置している。	・外出時など、たいへん気を使ってもらっている。 ・質問や相談に対して具体的で専門的なアドバイスをいただけるので勉強になる。 ・質問をした際に、担当からと言われることがあった。直接支援をしている職員の意見を聞きたいので柔軟に対応して欲しい。	専門性については、職員同士でも確認しあい一定以上のレベルになるように努めている。 質問への対応など、今後は柔軟に出来るようにしたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリーを含め、利用者の特性に応じた設備、環境である。	・事業所内は段差も少なく安心。	設備や支援環境については細かく点検をして良質さを保つように努めている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	事業ごとの会議、全体の連絡会議に全職員が参加している。		会議だけではなく、毎日の振り返りに力を入れている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	日々の連絡帳による意思疎通、定期的な要望書配布、希望に応じて面談などを実施している。	・いつでも相談できる窓口を設けていただいております、安心している。 ・連絡帳や送迎時などのやり取りで丁寧に様子を説明してもらっている。 ・こどもの様子に合わせた配慮があり、助かっている。 ・連絡帳だけでは不十分と感じる。 ・送迎時にもう少しゆっくりと話が出来ればと思う。	保護者の要望が適宜、把握できる体制作りに向けて検討している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開している。		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価の受審はしていない。		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	法人全体と事業所の内部研修を実施している。外部研修も積極的に受講している。		研修参加者による発表等を通して研修内容の共有ができるように考案中。 (法人の内部研修では令和2年度より導入)

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	療育相談や要望書配布による保護者ニーズの把握と確認、支援計画作成会議等により立案している。		アセスメントの客観性を確保するために多様な職種からの聴き取りを実施している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	独自のアセスメント様式を作成し、利用者の状況や特性を把握している。 必要に応じて医師の意見を聞き、支援に取り入れている。		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	日々のミーティングと会議により立案している。		プログラムの立案については、限られた職員が担当しているので、業務の分担を見直などして幅広く意見を取り入れることができるように考案中。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	会議当により定期的な見直しをしている。		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	下校後、休業日、土日祝日に大別したうえで計画を立案し支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用曜日が固定で仕方ないが、もう少し変化があればと思う。 ・身辺自立に関するプログラムがあればと思う。 ・子どもの様子に合わせて個別に支援をして頂いており感謝している。 	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	活動を選択できるように支援している。そのうえで個別の時間と集団の時間を個々に設定している。		
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	基本は当日に振り返りと課題の整理、翌日の打ち合わせと確認を行い、当日の支援直前に再度、打ち合わせで調整をしている。		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日の記録は必ずその日のうちに実施し、当日に振り返り替えるようにしている。		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	利用者の状況、課題に合わせた頻度でモニタリングを行い、必要に応じて計画の修正をしている。		
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	実施しているが十分に反映されていない部分もある。		ガイドラインの全体周知と確認を会議等で実施することで標準化を図りたい。	

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	担当職員と児童発達支援管理責任者が出席している。		精通した職員の育成に努めている。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	実施している。		
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療ケアが必要な子どもの受け入れ実績はない。		
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保護者を通じて利用全の情報を共有している。必要に応じて訪問をしたり連絡を取り合うようにしている。		
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報提供の要望があれば、保護者に確認のうえで同意を得ることが出来れば実施している。		成人の通所事業も実施しているため、移行に関する相談や連携の拠点となるようにしたい。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	連絡会等により連携を図っている。		主体的に研修を実施するなど検討中。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	取り組みについて検討中。	<ul style="list-style-type: none"> ・交流はしづらいと思う。 ・特に交流を必要と感じない。 	
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	案内があれば積極的に参加している。		
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳を主な手段として様子の共有をしている。他に送迎時に口頭でやり取りをしたり電話連絡により共有をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に様子を教えてもらっている。 ・家庭での過ごし方なども相談に応じてもらえるのでありがたい。 	サービス提供時間以外の過ごし方や課題について積極的に情報を収集している。その中で、家庭で出来る支援という視点で保護者にアドバイスをを行っている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	療育相談の時以外にも家庭で出来る配慮や支援などを適宜、伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的実施されている。 ・集まりがあるのは知っているが、参加はしていない。 	

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に実施している。 運営規定については細かくは出来ていない。		細かな改正等については十分に説明が行き届いていないので今後、改善していく。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎日、確認して何かあれば支援している。併せて相談後のアフターフォローをしている。	・通所当初は個人的な助言をもらえなかったが、現在は満足している。	家庭での課題や困りごとに焦点を当てた支援に重点を置いている。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者の集まり(座談会)を開催している。 同園会に実施など、保護者からの要望にも応じている。	・勉強会などがあれば参加したい。	保護者と併せて、お子さんや兄弟も参加できるような集まりを検討中。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情、相談受付の窓口を明確にしている。 苦情等があれば迅速かつ適切に対応している。	・何かあればすぐに対応してもらっているので感謝している。 ・苦情などがないのでよく分からない。	迅速な対応を心がけている。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月の発行を目指してお便りを出すようにしている。	・写真付きの行事報告はとてうれしかった。 ・ホームページでは活動の様子は分かりませんが、いつも詳細に教えて下さっています。	
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いを規定して遵守している。		日々、注意喚起するとともに複写やメモなど紙媒体については当日に破棄するようにしている。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	特性に合わせて配慮をしている。		
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現状は出来ていない。		地域との交流が出来るように、交流スペースを整備することを計画している。

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫等)	保護者評価	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルは整備されており職員には周知している。保護者に対しては出来ていない。	・マニュアルがあることは知っているが、周知となると出来ていないと思う。 ・説明があったように思う。	将来的には、保護者に配布できるように整備したい。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練を毎月実施している。		
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	内部での虐待防止研修と外部研修の受講をしている。		権利擁護委員会を設けており、研修を開いたり毎月、支援の検証をしている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束はしていない。		拘束等をしなくても支援ができるように支援技術の向上に努めている。 やむを得ず身体拘束をする場合の基準は明確にしている。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	書面もしくは口頭によるアレルギーの有無の確認をしている。		業務日誌にアレルギー等の特記事項を記入して確認する欄を設けている。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	危機管理委員会を設置し、委員を中心にヒヤリハットや事故の分析をして情報を共有している。		危機管理委員会を設置しており、委員を中心に苦情や事故、ヒヤリハットの分析と対策などを行うことで再発防止に活かしている。